

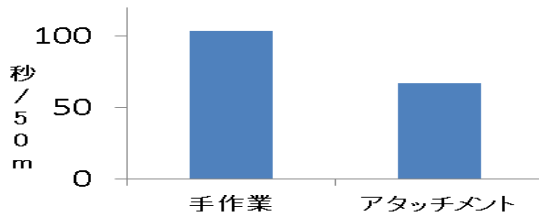
新しい直がけ被覆方式の 乗用型機械による利用技術の確立

(農林センター 茶業研究所)

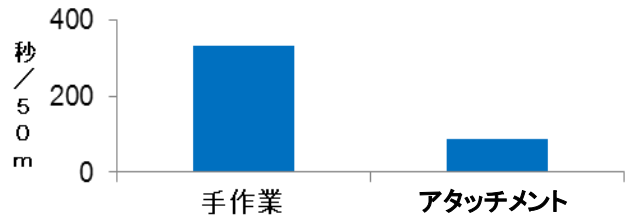
茶樹用直がけの被覆作業を機械化できる巻取展開装置(以下:アタッチメント)を開発し、直がけ被覆作業の時間短縮と軽作業化を実現しました。

アタッチメントの利用で直がけ被覆作業の時間短縮と軽作業化を実現

展開時間比較



収納時間比較



茶園1haで5km以上移動して行う作業



従来の直がけ被覆作業(手作業)

アタッチメントを装着した
乗用管理機による被覆作業



- 既存の乗用型管理機に装着可能
- 被覆資材のしわを抑え、巻取りが迅速で展開が容易
- 機械による直がけ被覆作業が可能になり作業時間が大幅短縮、軽作業化

- 既存乗用管理機へ装着できる被覆資材のアタッチメントにより作業時間の短縮と労力軽減につながります。
- 省力化による余剰労力で生産規模の拡大が可能となります。

※ アタッチメントについては、国の緊急プロジェクトによる試験継続となったため、現状では市販されていません